

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 甲子園大甲友会

1 事業名	「70 周年クッキーをみんなで食べよう」
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	●実施日 令和 6 年 11 月 3 日（一日間） ●場所 甲子園大学 紅葉祭 ●来場者数 1,130 名 ●内容 今年も地域の方に多く参加いただき、1,130 名のお客様と「宝塚市制 70 周年」のお祝いの気持ちを分かち合うことができました。 クッキーには「市制 70 周年の記念のロゴマーク」と「学生からのお祝いの言葉」を綴ったメッセージカードを同封し、受付にて学生より来場者へと手渡しいたしました。 メインステージでは甲友会代表者より、学生からみた宝塚の町の魅力や今後への期待などをお祝いの言葉と共に述べました。配布したクッキーは参加者みんなで掲げ、「いっせーの一で」の合図で記念撮影をしました。
3 市制 70 周年をお祝いした内容	甲子園大学の学生と地域の方々と交流し、「クッキーと一緒に食べる」という楽しい時間を共有することで市制 70 周年をお祝いしました。 小さい子供からお年寄りまで、幅広い年代の方々と関わりを持つこと、また、このような地域活動に取り組むことで、若い世代から町を盛り上げていくことの重要性に気づきました。 宝塚市がこれまで 70 年の歩みを進めさらに未来へつないでいくように、甲子園大学の学生として地域と共に躍進していきたいです。
4 事業の効果・成果	

(1) 告知・宣伝効果

紅葉祭のチラシに市制 70 周年記念イベントの詳細を記載しました。

クッキーをもらいに来た、写真撮影を楽しみにきたと言ってくれる方もおり、紅葉祭への来場のきっかけともなりました。

(2) 特別感の演出

広い世代に手に取ってもらいやすい「お菓子」を配布したことで気軽にイベントに参加いただけました。クッキーには大学の校章やオリジナルキャラクターもプリントし、特別感が演出できました。

ステージ前で集まり、みんなでクッキーをかかげて写真を撮ることで一体感が生まれ、会場全体でお祝いの気持ちを共有することができました。

(3) 若い世代への周知

ステージ上での代表からのメッセージは参加者に加え、在学生も傾聴しており、市制 70 周年イベントの意義や、地域活性化につながる活動について、若い世代への周知にもなりました。

5 実施した安全対策

(1) クッキー制作

学生で考案したレシピでクッキーを作りたかったのですが、衛生面の手続きの関係で難しいことが分かり、専門業者に発注してクッキーを制作いたしました。

(2) 学園祭の設営や警備

ステージの設営は専門業者に依頼しました。また誘導や警備などは大学の職員・学生みなさんに協力していただき、安全を期して行いました。